

ひとをつくる

まちをつくる

未来をつくる

右かがやき京プラン

京都市右京区基本計画2020

右かがやき京プラン

京都市右京区基本計画2020

抜き取ってお読みください

■平成23年3月

■編集・発行

〒616-8511

京都市右京区太秦下町部町12

右京区役所区民部総務課

TEL:075-861-1784

FAX:075-872-5048

http://www.city.kyoto.lg.jp/ukyo/

京都市印刷物 第225049号

右京区役所、区内各出張所で配布しています。

右京区役所ホームページでも掲載しています。

時代の変化を先取りするまちづくりを目指して 私たちのまち「右京」のまちづくりを共に進めましょう！

平成23年度からの10年間の右京区の将来の姿や目指すべき方向を区民や事業者の皆様、そして、行政が共有するための中期ビジョンとして京都市右京区基本計画2020「右京かがやきプラン ～ひとをつくる まちをつくる 未来をつくる～」を策定しました。

この計画は、右京区基本計画策定委員会で議論を重ねる中から出てきた「暮らしの価値観を変えてみよう!」、「地域ごとに特徴ある方向性を考えよう!」、「良い所をほめることから始めよう!」という視点から作られています。「まちづくり」とは、区民一人ひとりが地域でのよりよい暮らしを考えること、暮らしをより良いものにしていく行いを日々重ねていくことです。小さな取組の積み重ねを大事にしながら共に魅力あふれる右京の実現に向けて「まちづくり」を始めてみませんか。

●右京区の3つの将来像●

豊かな自然・文化を受け継ぐまち

楽しく歩けるまち

支え合い助け合うまち

千200年の歴史の息づかい、山紫水明の自然、美しい町並みの中で市民の皆様がいきいきと暮らす京都。伝統産業から先端産業まで、優れた技と知恵が融合・集積する「ものづくりのまち」、京都議定書誕生の地、環境モデル都市である「環境先進のまち」、国内外の人々を魅了する「国際観光のまち」等、京都には多様な、そしてそれぞれ世界に誇る、優れた特性があります。

今、人口減少・少子高齢化、進む地球温暖化など、私たちは様々な困難な課題に直面しています。しかし、京都ならではの都市特性を最大限に発揮し、ピンチをチャンスに知恵と力を結集すれば、必ず困難を乗り越えて未来を切り拓ける。私はそう確信しています。

この度、右京区の皆様の英知を結集し、右京区の個性を最大限に生かした魅力ある地域づくりを進めるための指針となる「京都市右京区基本計画2020「右京かがやきプラン」」を策定しました。この「右京区基本計画」は、今後10年間の京都の未来像と主要政策を明示した「はばたけ未来へ 京プラン（京都市基本計画）」とともに、市民の皆様と夢と希望、危機感と責任を共有して描いた「未来の京都」を実現するためのシナリオとなるものです。

策定に当たりましては、自治会をはじめ様々な方々で構成する住民円卓会議や、学識経験者・区民の皆様等による右京区基本計画策定委員会等で深い議論を重ね、区民ぐるみで取り組んでいたできました。皆様に深く感謝申し上げます。

右京区の皆様の熱い思い、夢、希望がぎゅっと詰まったこのシナリオを手に、私は、皆様と共に汗する「共汗」と、徹底した市民目線による政策の「融合」を基本に、「地域主権時代のモデル」となる未来の京都のまちづくりを全力で進めて参ります。そして、50年後、100年後も「日本に京都があった」か、た「京都に住んでよかった」と実感していただける魅力あふれる京都を築いていく決意です。

さあ、皆様！希望に満ちた未来へと、右京区が、そして京都が、更に高く、強く、美しくはばたくよう共に力を合わせて参りましょう。

京都市長

門川 大作

1 右京かがやきプラン 京都市右京区基本計画2020

右京区基本計画の進め方について

10年後に向けた取組スケジュール

【平成23年度】

【平成26年度】

【平成33年度】

まちづくりに弾みをつけるプロジェクト（初めに取り組む事業）

取組テーマに応じた、個別の具体的なまちづくりの取組

まちづくりのさらなる展開

3年目までに実施。（各プロジェクトは、2年を目安に取り組む）

まちづくりに弾みをつけるプロジェクトの成果をベースに、さらに具体的な取組へと展開。

区民、事業者、行政の協働で進める基本計画の運営

地域住民、地域の自営業者、企業や大学等、地域の各種団体、市民活動団体は、それぞれの関心に応じて、まちづくり区民会議への参画、プロジェクトチームへの参画、個別取組への参画などを多様な関わりを通じて行政とともに協働でまちづくりを進めます。

まちづくり区民会議

幹事会

全体会議

ジュニア円卓会議

プロジェクトチーム

個別の取組

「右京が京都にあって良かった」と実感できる「右京ライフ」の実現

近年、私たちを取り巻く社会経済情勢は目まぐるしく変化しています。計画では、守るべき伝統はしっかりと守りつつ、来るべき変化には柔軟に対応するとともに、豊かな自然や歴史・文化が息づく恵まれた環境の中で、誰もが安心・安全に心豊かに暮らせる「右京ライフ」を御一緒に進めていくことが目指されています。

また、区内の各種団体、NPO、企業、大学等と行政が連携・協力し合い、同じ視点、同じ方向で右京区のまちづくりを考え、行動に移していく方策も具体的に示されています。

さあ行動しましょう！魅力あふれる右京のまちづくりに向けて！

計画はできました。しかし、これはあくまでもスタートです。計画の実現には、区民の皆様をはじめ右京区すべての力を結集して取り組むことが不可欠だと考えています。行政も縦割りを越え「オール右京区」で取り組んで参りますので、皆様の御協力御参画をお願いいたします。

京都市長

門川 大作

策定までの歩み

区民の皆様とともに作り上げた基本計画

右京区基本計画策定委員会

右京区基本計画

京都市内各種団体、市民公募委員及び学識経験者等、21名の委員で構成。右京区長からの諮問に応じ調査及び審議が行われました。

右京区住民円卓会議

区民のみなさんの意見を十分に反映した計画とするため、各地域から総勢78名の委員が参加し、右京区を4ブロックに区分して、それぞれの地域に暮らす皆さんの幅広いニーズや課題を出し合いました。その結果は、各ブロック長が策定委員として関わることで、基本計画に反映されています。

本計画素案に対する意見募集

平成22年7月15日～8月31日、25名の区民の方から様々な御意見をお寄せいただきました。いただいた御意見を基本計画に少しでも反映させるべく審議が重ねられました。

右京かがやきプラン 京都市右京区基本計画2020 4